

## 3298 欧州 88 夢紀行：ポーランド滞在記

記録では事件発生からの悪印象で、<sup>あつもの</sup> 糞に懲りて<sup>なます</sup> 膾を吹く、が続いて旅が台無し。  
辞書では、熱い吸い物を飲んで、やけどをしたのに<sup>こりて</sup>、冷たいなますも吹いて冷ます、前の失敗に<sup>こりて</sup>  
必要以上の用心をすることのたとえ、とある。まさに、地方でも、こんな状況が続いた。

地方都市、日曜日はガソリンスタンドもキヨスク（店舗）も休業。

旅の失敗、ポーランドで、すべて体験。大きな教訓になったように思う。自分の甘さと無知と不勉強。

ガソリンと店舗が休業ではなんともならない。何よりも宿（看板）が見つからない。

諸般の状況から、ワルシャワに戻った方が良さそう。地方で、事件に今一度遭遇したら大変。  
冒険自粛。帰れなくなる、とは言いながら、車で、慣れてくると、いろいろポーランドの自然探訪。取材もできた。  
気持ちも落ち着いてきた。お腹もすいた。ポーランド料理も体験したい。

少し話題を変えて「食」の話。生キャベツ、サワークラフト、きのこ、肉と一緒に煮込んだ料理「ビゴス」

ポーランドは森と湖の国、木の実やきのこの宝庫。1日4回の食習慣。

朝食、軽食 10 時、昼食 13~16 時、夕食。

前菜、スープ、肉料理、魚料理、野菜、粉から作った料理、デザートのカキ類、ビール…  
特にスープは好きなのでいろいろ試した。ソーセージ付きのかなりドロツとした辛みと酸っぱみのスープや  
ぎょうざ・ワンタン・そら豆付き赤いビーツスープ、その他…

ポーランド風のとんかつや魚料理、ますやすすぎ、名前の詳細は確かでないが野菜の盛り合わせ、  
カリフラワー、にんじん、グリーンピース、芽キャベツ、ネギ、きゅうり…  
やはり、味付けが独特で、好き嫌いのない久業には、安全で、心落ち着く場所での食事は、至福の時間だった。  
腹の足し、身体の足し、心の足し。元気、やる気が戻ったのは言うまでもない。

街歩きには、相変わらず神経を使った。なにしろ私は異邦人、ジロジロ、視線を感じた。  
また、日頃見慣れない顔つきなので戸惑ったのは言うまでもないが、東西交易路の中継点に位置するポーランド。  
文化、経済の中心にはなれなかった国。悲劇の国という印象がある。

またまた話は変わるが、ホテル代やレンタカー代が高すぎる。予算オーバー。  
百貨店すら入口出口を分けて一方通行、出口でチェック。鉄格子のはまっている一般店舗も多いと感じた。  
雨上がり、人も少ないので旧市街へ取材に出かけた。

昼食は、唯一の中華飯店で食事、中華と洋風が混ざった雰囲気、味覚も今ひとつだった。  
6時間の散策で、カメラが重くまた、足の裏にマメができ、一度ホテルに帰り、荷物のチェックと整理をした。  
フロントにも明日のタクシー依頼やモーニングコールも頼んでおきたい。

明朝、モーニングコール、6:00、タクシー7:30、フロントと話し、安価の919のタクシーを依頼。  
というのも、ワルシャワ・オケンチェ空港からホテルまでのタクシー料金、普通の4倍のタクシー代をとられた。  
タクシーの選択も大切。シェラトンホテルではすべて919のタクシーが待機していた。

街歩き、ウォッチングを楽しむ余裕も出てきた。ブロンドの髪、帽子、マフラー、コート、  
なかなかオシャレな女性も度々見かける。裕福な人は大変少数ではないか。  
誰かに守られながらの人以外は、足早で、楽しむような気配は全くなかったように感じた。その点、若者はのびのび。

6時頃、食事のため外出。警官？ ガードマン？ 2人1組。どこかしこに目につく。  
反対に目につかないと犯罪が起こっているのではないか。私が暴力を受けたのも、地方都市で警察が少ない？  
写真も人の表情など興味があったが、ポーランドでは控えた。ポーランド人は体格が大きい。

マクドナルド、ピザハット、ケンタッキーフライドチキンの店は、満員の盛況。  
ガードマンが数人いて、注意を怠らない、そんな雰囲気だった。子供の物乞いも多く、要注意だった。何しろ一人旅。  
精神的にタフなつもりだったが、また偏頭痛。緊張感とストレス、そして、天候が原因だと思う。

ポーランドではフィルム写真だが、約500枚。顔と足の傷は快方に向かっている。貴重品の被害はなかった。

無事出国できれば幸い。空港通関時、荷物が10キロオーバー。追加料金135zt。  
空港パスポートコントロール、十分に時間を持ってかからないと問題。日頃の常識とは異なる。

空港で見かける人種も服装も欧米とは異なるので気が許せない。今、チェコ、プラハ行き、空港待合で書いている。  
しかし、まだ、コメカミがズキズキしている。一生で体験できにくいことをさせてもらっている。  
貴重な体験が積み重なったと前向きに解釈。学びと気づき、発見。有難い。次に役立ったのは言うまでもない。